

献血がつなぐ命と優しさを
愛の献血助け合い運動月間

夏は長期休暇などにより学校や企業、団体などから献血の協力が得にくくなります。その一方で、輸血用血液製剤は長期保存ができないため、年間を通して献血のご協力が必要です。

いつでも確実に患者さんに血液を届けられるように、定期的な献血のご協力をお願いします。

7月5日(金)
400ml献血にご協力ください

【献血実施日】 7月5日(金)

【場所&時間】

畜産開発公社 10時～11時30分
役場前 13時30分～16時30分
健康福祉課健康係 ☎内線157

登録&活用してください
シルバー人材センター

町シルバー人材センターは、健康で働く意欲のある60歳以上の会員を募集しています。仕事は草取りやガラス拭きなどのうち、自分が作業できるものです。

また、個人や企業、団体などから短期間でできる簡単な仕事を受け付けています。作業はシルバー人材センターの会員が請け負いますので、お気軽にご相談ください。

【会費】会員の登録には保険料として、年会費1,000円の負担が必要です。

【仕事の内容】草取り、草刈り、庭木の剪定、掃除、除雪、ガラス拭き、障子およびふすま張り、お墓の掃除、簡単な農作業など

【依頼費用】職種や業務内容を考慮した見積もり基準単価表に基づいて決定します。

葛巻町シルバー人材センター(社会福祉協議会内) ☎66-2111内線581

配慮を必要としている人のためのマーク
ヘルプマークをご存知ですか？

町では義足や人工関節を使用している人や内部障がい、難病、妊娠初期の人など外見からは分からなくても何らかの援助や配慮を必要としている人のためにストラップ型の「ヘルプマーク」を配布しています。

これは、配慮を必要としている人たちが周囲の人に知らせることで、援助を受けやすくなるように東京都が作成したマークで、岩手県でも5月から配布を始めました。

ストラップは、カバンなどに着けて使用できます。また、伝えたいことを書いたシールを片面に貼り付けてお知らせすることもできます。

【配布対象者】

援助や配慮を必要としている人(障がい者、難病の人、妊娠中の人など)

【配布方法】

申し込み者1人につき1個を無料で配布(ご利用に関するアンケートにご協力をお願いします)

【配布窓口】

健康福祉課福祉係 ☎内線152、県広域振興局保健福祉環境部、県保健福祉環境センター

ヘルプマークを見かけたら
理解して助け合いましょう

▶電車やバスの中では席を譲りましょう

疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなど同じ姿勢を保つことが困難な人がいます。

▶駅や商業施設などでは声を掛ける配慮をしましょう
立ち上がる、歩くなどの動作が困難だったり、突発的な出来事に臨機応変に対応することが難しい人がいます。

▶災害時は安全に避難をするための支援をしましょう
視覚や聴覚に障がいがあり、状況把握が難しい人や自力で迅速な避難が困難な人など、さまざまな人がいます。



熱中症は一人ひとりが正しい知識を持って適切に行動すると予防できます。次の5つの声掛けを実践して、熱中症を予防しましょう。

- 1 温度に気を配ろう
- 2 飲み物を持ち歩こう
- 3 休息をとろう
- 4 栄養をとろう
- 5 声を掛け合おう

次の症状に注意
熱中症を疑おう

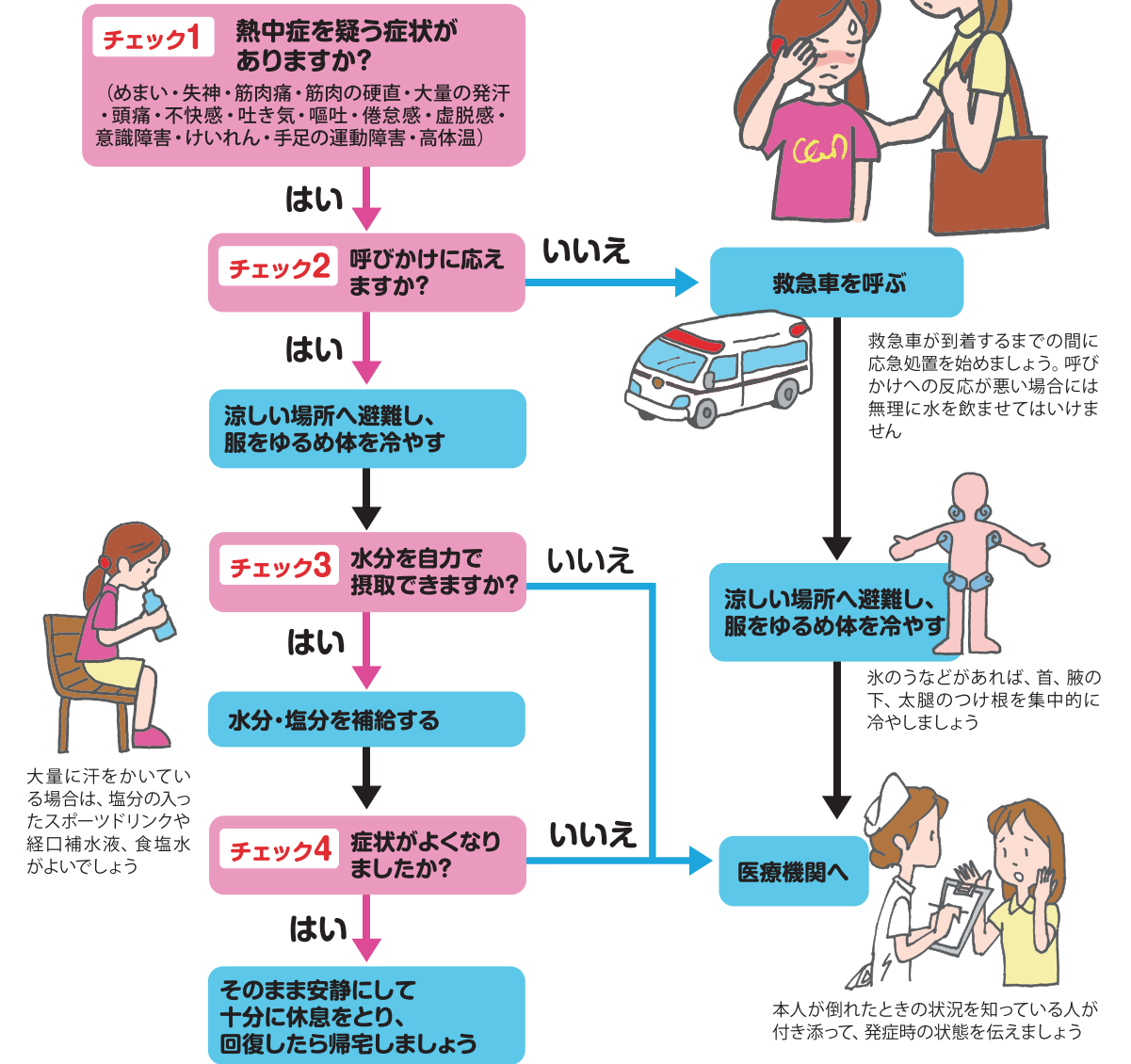
熱中症を疑う症状を放置すれば死に直結する緊急事態であることを誰もが認識することが大切です。重症の場合は、救急車を呼び、現場ですぐに体を冷やし始めることが必要です。

【重症度Ⅰ】めまい、立ちくらみ、筋肉痛、汗が止まらない、気分が悪い
【重症度Ⅱ】頭痛、吐き気、体がだるい(倦怠感)、虚脱感、意識がなんとなくおかしい
【重症度Ⅲ】意識がない、けいれん、体が熱い、呼びかけに対して返事がおかしい、まっすぐに歩けない、走れない

熱中症の応急処置(応急処置)

環境省熱中症予防サイトより

あなたの周りの人が熱中症になってしまったら落ちついて、状況を確認して対処しましょう。



7月は熱中症予防強化月間です
声を掛け合い熱中症を予防しましょう！